


令和6年(2024年)2月16日(金)10時00分 配布

<p>項目</p>	<p>北海道オホーツク総合振興局と北見工業大学との包括連携協定締結式について</p>
<p>配付資料</p>	<p>連携協定の概要</p>
<p>内容</p>	<p>今般、北海道オホーツク総合振興局と北見工業大学は、持続可能で活力あるオホーツク地域の実現に向けた課題の解決に取り組むことを目的に包括連携協定を締結することとしました。 つきましては、本協定の締結式を次のとおり執り行います。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日時 令和6年(2024年)2月27日(火) 11時00分～(30分程度)</p> <p>2 場所 オホーツク合同庁舎 1階保健所会議室(網走市北7条西3丁目)</p> <p>3 締結者 北海道オホーツク総合振興局長 中島 和彦 北見工業大学長 鈴木 聡一郎</p> <p>4 次第 出席者紹介、協定書への署名、記念撮影、局長及び学長からの挨拶、質疑応答(事務方対応)</p> <p>○ 包括連携協定の締結に至った経緯 北見工業大学は「人を育て、科学技術を広め、地域に輝き、未来を拓く」を理念に、これまでに北海道オホーツク総合振興局と先端技術を活用したスマート林業の推進や、地域公共交通の維持、発展に向けた検討等を協働で実施してきました。 一方で、オホーツク地域では人口減少下における第一次産業の担い手不足や、安定生産体制の確保、また、アドベンチャートラベル(AT)に代表される体験型観光の推進、地域一体となった脱炭素に向けた取組の促進などが課題となっています。 こうした課題は、行政のみならず学術機関等、地域の多様な主体が認識を共有、相互に連携しながら、それぞれの有する資源を最大限に生かしつつ、科学的根拠(エビデンス)に基づき、適切な手法(技術)により解決を図っていくことが不可欠であり、持続可能で活力あるオホーツク地域の形成に向けては学官一体となって取組を推進する必要があります。 このため、オホーツク地域のポテンシャルを最大限に生かしながら、地域唯一の工業系大学である北見工業大学と研究成果や開発技術、人材等について連携することで、持続可能で活力あるオホーツク地域の実現に向けた課題の着実な解決を図っていくことを目的に、オホーツク総合振興局と北見工業大学による包括連携協定を締結することとなりました。</p>
<p>報道に当たってのお願い</p>	<p>当日取材いただける場合は、<u>令和6年2月21日(水)17時まで</u>に下記連絡先までお知らせください。 〔 オホーツク総合振興局地域創生部地域政策課地域振興係 担当：道下 直通 0152-67-5621 〕</p>
<p>担当窓口</p>	<p>オホーツク総合振興局地域創生部 地域政策課長 杉村 勝彦 直通 0152-41-0618</p> 

北海道オホーツク総合振興局と北見工業大学との包括連携協定の概要



国立大学法人 北海道国立大学機構 北見工業大学

- ◆「人を育て、科学技術を広め、地域に輝き、未来を拓く」の理念のもと、地域社会の発展に尽力してきました。
- ◆オホーツク地域の特性に根ざしたこれまでの研究実績を踏まえ、個性輝く研究分野をより一層発展させるとともに、教育・研究あるいは人材育成を通して、地域社会の発展と社会基盤の充実に積極的に貢献します。



北海道オホーツク 総合振興局

- ◆公共サービスの充実を図っていくため、学術機関のノウハウ、アイデアを提供いただき、学官一体となった協働を積極的に推進していきます。
- ◆民間企業等との協働により、将来にわたって安全で安心して心豊かに住み続けることができる活力あるオホーツク地域の形成を目指します。

農林水産業の振興に関する事項

- ・先端技術を活用したスマート林業の推進、作業システムの効率化に向けた技術支援
- ・農業における機械化・自動化・ICT等の導入促進
- ・水産加工技術の開発、漁場整備等に係る技術開発 等

観光振興・地域の魅力発信に関する事項

- ・オホーツクの地域特性などを生かした観光メニューの開発、受入体制の整備
- ・食の高付加価値化・ブランド化の促進
- ・オホーツクAI（エリアアイディンティティ）の推進 等

脱炭素・ゼロカーボン北海道の推進に関する事項

- ・地域が一体となった脱炭素社会実現に向けた取組の推進
- ・再生可能エネルギーの普及促進 等



防災・減災に向けた地域づくりに関する事項

- ・防災意識の向上
- ・防災・減災対策の強化 等

公共交通の活性化に関する事項

- ・北海道オホーツク地域等公共交通計画の推進
- ・公共交通の利用促進 等

地域で活躍する人材の育成に関する事項

- ・DX化に向けたデジタル人材の育成
- ・地元企業等との連携による学生と企業とのマッチング機会の創出 等